

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。  
(一) 内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	5人	205分
誠友会	4人	165分
市民連合	2人	145分
日本共産党	2人	145分
新政クラブ	1人	70分
無所属	1人	30分

\*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



高田 健司  
水曜会 (70分)

## 新年度予算編成における「5つの挑戦」の具体は

**問** 新年度予算編成における「5つの挑戦」について具体的な取り組みは。

**答** 中長期的には、福山駅前再生に向けて確かな道筋をつけるとともに、女性の就職支援までワンストップで提供できる福山版ネウ

ボラの構築や多種多様な製造業の集積力を生かした産業振興、経済活動を支える幹線道路の渋滞緩和策の促進、自助・共助・公助の連携による強固な防災体制の構築、厳しい時代の中にあっても自ら進むべき道を切り拓く人材の育成、福山城築城400年に向けた機運の醸成などに取り組み、本市の活力と魅力を高めていきたいと考えている。

このうち、新年度では特に福山駅前再生や福山版ネウボラ、築城400年などの施策に注力して取り組む。



連石 武則  
水曜会 (50分)

## うつみ体験交流推進協議会の取り組みは

**問** 市全体では人口が増加している中、人口減少が続いている沼隈町、内海町地域の活性化に向けた取り組み内容と今後の方向性は。

**答** 沼隈内海商工会、地域の自治会連合会、漁業協同組合などが

協議会を設立し、体験型修学旅行の誘致に取り組んでいる。本受け入れを開始した平成28年5月から10月末までに受け入れた中高生は5校658人。本事業は、修学旅行生には本格的な漁業体験や一般家庭での宿泊体験等により教育的効果を、地域には体験料や物販の収入による経済的效果をもたらしている。事業継続のためには受け入れ家庭を増やすことが大切であり、行政としても支援していく。今後、多くの修学旅行生を誘致し交流人口を増加させることで、地域の活性化につなげていく。



神原 則男  
水曜会 (60分)

## 高齢運転者等の運転免許証の自主返納制度は

**問** 高齢運転者の交通事故を防ぐため、運転免許証の自主返納促進の考えは。

**答** 運転に不安を抱える高齢者に運転免許証を自主的に返納していただくことは事故の減少につながると考えている。

本市では、高齢者向け交通安全教室などを開催し、高齢者全般に関わる教育・啓発等を実施しており、今後、自主返納制度の周知にも取り組む。  
また、返納しやすい環境整備の必要もあり、国の動向等も把握する中、警察をはじめとする関係機関、団体等と連携し、検討していく。



\*12月定例会の一般質問の録画放送を見る場合  
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。